

	1 年			2 年			3 年			4 年			卒業要件 (90単位)			
	春学期	秋学期		春学期	秋学期		春学期	秋学期		春学期	秋学期					
	1セメスター	2セメスター		3セメスター	4セメスター		5セメスター	6セメスター		7セメスター	8セメスター					
	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	科目名	単位	他学部	
数学系	◎解析学 1	{(2)}		◎解析学 2	{(2)}		確率統計学A	{(2)}		確率統計学B	{(2)}					
	◎線形代数学	{(2)}		◎幾何学	{(2)}		離散数学	{(2)}								
	基礎数学	{(2)}														
理工基礎科目	◎コンピュータリテラシー	{(2)}					◎プレゼンテーション・コミュニケーション	{(2)}		◎技術英語 1	{(2)}		◎技術者倫理	{(2)}		
	◎キャリアデザイン	{(2)}								キャリアマネジメント	{(2)}		キャリアマネジメント2	{(2)}		
キャリア支援系	海外セミナー1 (2)															
	海外セミナー2 (2)															
実験・実習系	◎工学基礎実験A (※模擬シミュレーション)	{(2)}		◎工学基礎実験B (※模擬シミュレーション)	{(2)}					◎プロジェクト研究基礎演習	{(2)}		◎プロジェクト研究応用演習	{(2)}		
										◎ロボット製作実習	{(2)}				◎卒業研究 1	{(3)}
力学系				◎機械静力学基礎	{(2)}		◎機械動力学基礎	{(2)}								
				◎機械静力学基礎演習	{(2)}		◎機械動力学基礎演習	{(2)}								
人間工学/企画・設計系	生産システム/工学概論	{(2)}	電	CAD設計	{(2)}		◎支援工学	{(2)}		バイオメカニクス	{(2)}	電				
							◎感性工学	{(2)}	電	ニューロ・インフォマティクス	{(2)}	電	最適化工学	{(2)}	電	
製作系/機械				◎センサ工学	{(2)}		◎ロボット工学	{(2)}								
				◎材料力学	{(2)}		構造力学	{(2)}	電	熱力学	{(2)}	電	材料工学	{(2)}	電	
製作系/電気	◎電気回路	{(2)}		◎電子回路	{(2)}					◎メカトロニクス	{(2)}				システム制御工学	{(2)}
	◎Cプログラミング1	{(2)}		Cプログラミング2	{(2)}		数値シミュレーション	{(2)}	電				デジタル信号処理	{(2)}	電	
製作系(情報)				◎計測制御プログラミング(LabVIEW)	{(2)}								機械学習論	{(2)}	電	
													画像信号計測・処理	{(2)}	電	
管理系							◎生産管理論	{(2)}	電	システムシミュレーション	{(2)}		技術経営論	{(2)}	電	
総合系													機械システム特別講義A	{(2)}	電	
													機械システム特別講義B	{(2)}	電	

必修 50 単位

選択必修 10 単位 *1

選択 30 単位 *2

◎…必修科目 ○…選択必修科目 無印…選択科目

*開講期は変更されることがあります。 学科目時間割表に従って、履修してください。

*1「選択必修(10単位)」において必要な要件を超過して単位を修得した場合、*2「選択(30単位)」の要件に算入されます。

8 履修モデル(機械システム工学科)

問合せ先 教務課：名古屋 5号館1F 豊田 1号館1F

3つの履修モデル

機械システム工学科では、科目を履修(選択)する際の目安として、3つの履修モデルを設定しています。自分の将来像をよく考え、下記の履修モデルを参考に科目を履修(選択)してください。

メカトロニクスモデル

幅広い産業分野で利用されているメカトロニクス機器の製作や、その開発に必要な機械工学の知識と制御技術を身につける。

	1年		2年		3年		4年		計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター	
工学基礎科目	数学系	解析学1 (2) 線形代数学 (2)	解析学2 (2) 幾何学 (2)		確率統計学B (2)				10
	リテラシ系	コンピュータ・リテラシ (2)		プレゼンテーション・コミュニケーション (2)	技術英語1 (2)	技術英語2 (2)	技術者倫理 (2)		10
	キャリア支援系	キャリアデザイン (2)				キャリアマネジメント1 (2)			4
学科基幹科目	実験・実習系	工学基礎実験A (体験・シミュレーション) (2)	工学基礎実験B (体験・シミュレーション) (2)			プロジェクト研究基礎演習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3) 卒業研究2 (3)	14
	力学系		機械静力学基礎 (2) 機械静力学基礎演習 (2)	機械動力学基礎 (2) 機械動力学基礎演習 (2)					8
学科展開科目	人間工学/企画・設計系		CAD設計 (2)	感性工学 (2)	ニューロインフォマティクス論 (2)				6
	製作系(機械)		センサ工学 (2) 材料力学 (2)	ロボット工学 (2) 構造力学 (2) 機械設計製作法1 (2)	機械設計製作法2 (4)	材料工学 (2)			16
	製作系(電気)	電気回路 (2)	電子回路 (2)		メカトロニクス (2)			システム制御工学 (2)	8
	製作系(情報)	Cプログラミング1 (2)	Cプログラミング2 (2) 計測制御プログラミング(LabVIEW) (2)			ディジタル信号処理 (2)			8
	管理系				生産管理論 (2)		技術経営論 (2)		4
	総合系							機械システム特別講義B (2)	2
		14	22	14	14	10	6	7	390

ロボティクスモデル

人体や生物の巧妙な動きに匹敵する高い機能性をマシンで実現するために必要な工学理論と生命体の構造に関する知識を修得。

	1年		2年		3年		4年		計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター	
工学基礎科目	数学系	解析学1 (2) 線形代数学 (2)	解析学2 (2) 幾何学 (2)	離散数学 (2)					10
	リテラシ系	コンピュータ・リテラシ (2)		プレゼンテーション・コミュニケーション (2)	技術英語1 (2)	技術英語2 (2)	技術者倫理 (2)		10
	キャリア支援系	キャリアデザイン (2)							2
学科基幹科目	実験・実習系	工学基礎実験A (体験・シミュレーション) (2)	工学基礎実験B (体験・シミュレーション) (2)			プロジェクト研究基礎演習 (2) ロボット製作実習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3) 卒業研究2 (3)	16
	力学系		機械静力学基礎 (2) 機械静力学基礎演習 (2)	機械動力学基礎 (2) 機械動力学基礎演習 (2)					8
学科展開科目	人間工学/企画・設計系		CAD設計 (2)	支援工学 (2)	バイオメカニクス (2)				6
	製作系(機械)		センサ工学 (2) 材料力学 (2)	ロボット工学 (2) 構造力学 (2) 機械設計製作法1 (2)	熱力学 (2) 機械設計製作法2 (4)	流体力学 (2)			18
	製作系(電気)	電気回路 (2)	電子回路 (2)					システム制御工学 (2)	6
	製作系(情報)	Cプログラミング1 (2)	計測制御プログラミング(LabVIEW) (2)				機械学習論 (2) 画像信号計測・処理 (2)		8
	管理系				生産管理論 (2)		技術経営論 (2)		4
	総合系						機械システム特別講義A (2)		2
		14	20	16	12	8	12	5	390

自動化システムモデル

製品の企画・開発から製造、出荷にいたる生産活動をより効果的に行うトータル生産システム構築に必要な知識と実践力を養う。

	1年		2年		3年		4年		計
	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	
	1セメスター	2セメスター	3セメスター	4セメスター	5セメスター	6セメスター	7セメスター	8セメスター	
工学基礎科目	数学系	解析学1 (2) 線形代数学 (2) 基礎数学 (2)	解析学2 (2) 幾何学 (2)	確率統計学A (2)					12
	リテラシ系	コンピュータ・リテラシ (2)		プレゼンテーション・コミュニケーション (2)	技術英語1 (2)	技術英語2 (2)	技術者倫理 (2)		10
	キャリア支援系	キャリアデザイン (2)				キャリアマネジメント1 (2)			4
学科基幹科目	実験・実習系	工学基礎実験A (体験・シミュレーション) (2)	工学基礎実験B (体験・シミュレーション) (2)			プロジェクト研究基礎演習 (2)	プロジェクト研究応用演習 (2)	卒業研究1 (3) 卒業研究2 (3)	14
	力学系		機械静力学基礎 (2) 機械静力学基礎演習 (2)	機械動力学基礎 (2) 機械動力学基礎演習 (2)					8
学科展開科目	人間工学/企画・設計系	生産システム工学概論 (2)	CAD設計 (2)	感性工学 (2)		最適化工学 (2)			8
	製作系(機械)		センサ工学 (2) 材料力学 (2)	ロボット工学 (2) 機械設計製作法1 (2)	機械設計製作法2 (4)	流体力学 (2)	振動工学 (2)		16
	製作系(電気)	電気回路 (2)	電子回路 (2)					システム制御工学 (2)	6
	製作系(情報)	Cプログラミング1 (2)	計測制御プログラミング(LabVIEW) (2)	数値シミュレーション (2)			画像信号計測・処理 (2)		8
	管理系				生産管理論 (2)	システム・シミュレーション (2)			4
	総合系								2
		18	20	16	8	12	8	5	390

工学基礎実験A/B(体験・シミュレーション)

- ①この科目は、複数の実験から構成されており、すべての実験をグループ単位でローテーションしながら進めていきます。
- ②履修にあたってのグループ分け、集合場所、実施方法については、ALBOまたは学部Webサイトで案内します。

計測制御プログラミング(LabVIEW) (1年生秋)

感性工学(2年生春)

- ①上記2科目は履修者制限科目です。定員は、100名程度です。履修者数が多数の場合は、自動的に抽選が行われ、抽選に合格した場合、CUBICSの「履修時間割参照」画面に科目名が表示されます。
- ②初回授業には必ず出席をしてください。

CAD設計(1年生秋)

- ①この科目は履修者制限科目です。定員は、40名程度です。履修者数が多数の場合は、自動的に抽選が行われ、抽選に合格した場合、CUBICSの「履修時間割参照」画面に科目名が表示されます。
- ②初回授業には必ず出席をしてください。

「プロジェクト研究基礎演習」(3年生春：3年春ゼミ)

「プロジェクト研究応用演習」(3年生秋：3年秋ゼミ)

- ①上記2科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②上記2科目は、4年生「卒業研究1/2」と強く関連しています。

■担当(指導)教員決定方法

- ①担当(指導)教員決定(ゼミ配属)は、2年生の秋学期中(10月～12月頃)に行います。
- ②ゼミ決定のスケジュールは、ゼミ配属説明会で案内します。電気電子工学科教員のゼミを希望してもスケジュールは、同じですが、電気電子工学科教員のゼミを希望する場合は、希望教員とよく面談をして希望をするようにしてください。また、各自の単位修得状況や卒業要件をよく確認し、卒業に支障のないようにしてください。

「卒業研究1」(4年生春：4年春ゼミ)

「卒業研究2」(4年生秋：4年秋ゼミ)

- ①上記2科目は、担当教員が指導するゼミ形式で実施されます。
- ②上記2科目は、3年生「プロジェクト研究基礎演習」「プロジェクト研究応用演習」と強く関連しています。

■担当(指導)教員

- ①原則として、3年生「プロジェクト研究基礎演習」「プロジェクト研究応用演習」の担当教員の元、指導を受けます。
- ②やむを得ず担当教員の変更を希望する場合は4年生の春学期履修登録修正期間が終了するまでに、3年生で指導を受けた担当教員と4年生から指導を希望する担当教員の双方に了承を得なければなりません。
了承を得る場合は、ゼミ担当教員変更届(書式は自由)を各自作成し、了承を得てください。ゼミ担当教員希望届の取り扱い(受理・不受理の決定等)は、当該教員に委ねます。
了承が得られた場合は、ゼミ担当教員の変更が認められますので、履修登録(修正等)は、各自の責任で行ってください。
ただし、「卒業研究1」と「卒業研究2」の担当教員を変更することはできません。

■単位認定方法

「卒業研究」の単位を認定される為には、卒業研究論文を提出し審査を受けなければなりません。

■卒業研究論文の提出

- ①研究論文の形式および体裁は担当教員から指示をします。
- ②提出期日・提出場所等は、ALBOで案内します。

「キャリアマネジメント1」(3年生春)

- ①この科目は、学内キャリアセンターと連携し、就職活動を支援する科目です。
- ②この科目は、事前に申し込みが必要です。申し込みに関する詳細(受付日・受付方法等)は、2年生の秋学期中(12～1月頃)にALBOで案内します。
- ③この科目は、定員が設定されています。履修希望者多数の場合、2年生終了時の学部固有科目の総修得単位数およびGPA等により選抜を行います。

「キャリアマネジメント2」(3年生秋)

- ①この科目は、学内キャリアセンターと連携し、就職活動を支援する科目です。
- ②この科目は、「キャリアマネジメント1」を修得した学生のみ履修できます。

インターンシップ(3年生)

- ①この科目は、3年生のみ履修ができます(再履修不可)。
- ②キャリア支援課が実施する「インターンシップガイダンス」と「ビジネスマナー研修」に参加することが必要です(ガイダンス参加は必須要件)。ガイダンスに参加して、応募の流れから実習の実施、さらには単位認定に至るまでの一連の流れを詳細に確認してください。
- ③一般企業・非営利団体などで、実務および実習体験を行い、後日「参加報告書」を提出してください。
- ④必要条件を満たすと、2単位が認定されます。成績表では「N」と表記されます。
- ⑤履修登録は不要です。履修登録制限単位には含めません。

海外セミナー1・2

この科目は、本学国際センター企画・主催の海外語学研修に参加・修了し以下の要件を満たした者が、学部固有(選択)科目の「海外セミナー1および2」として単位認定されます。

■参加・募集方法

国際センターが主催する説明会に出席するか、国際センター事務室で確認をしてください。

■単位認定方法

- ①研修参加が決定した者は、研修出発前に必ず各学科の留学担当教員と面談し、課題等の指導を受けてください。
- ②各学科の留学担当教員は、教務課で確認してください。
- ③研修終了後、課題レポートおよび修了証明書を留学担当教員へ提出してください。
- ④単位が認定された場合の成績評価は「N(認定)」となります。※研修参加前後の留学担当教員との面談を行わなかったり、課題を提出しなかった場合は、単位認定はされません。
- ⑤単位認定の機会は2回あります。1回目は「海外セミナー1」、2回目は「海外セミナー2」として認定されます。
- ⑥履修登録は不要です。単位認定後の履修制限単位への算入もありません。

他学科開講科目の履修

機械システム工学科生は、他学科履修として、電気電子工学科の科目が履修できます。履修可能な科目は、電気電子工学科「学部固有科目一覧表(他学科履修の欄)」で確認してください。修得した単位は、学部固有選択単位として10単位まで卒業要件に算入できます。10単位を超えて修得した単位は、自由単位(卒業要件に含まない)となります。

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28

オフィス・アワーについて

工学部では、学部の教員がみなさんの学習についての相談に応えるために、オフィス・アワーという制度を設けています。授業の前後にお話することはもちろんですが、研究室等においてきめ細かい対応や指導をうけることも出来ます。オフィス・アワーの時間帯は決まっていますので、詳細はALBOまたは学部ホームページを確認してください。

修得モデル

工学部では、学修の目安となる修得モデルを設定しています。下表を参考にしながら、自身の単位修得状況をしっかりと把握し、計画的な学修を心がけてください。また目標GPAを参考にして学修の質の向上も目指してください。

【修得モデル表】

学年	終了時期	総修得単位	目標GPA
1年	1セメ	19以上	各セメ 2.5以上
	2セメ	38以上	
2年	3セメ	56以上	
	4セメ	74以上	
3年	5セメ	92以上	
	6セメ	110以上	
4年	7セメ	121以上	
	8セメ	124以上	

※1-3年生までは、各学期の履修登録制限単位数の約8割を目安としています。

履修・学修アドバイザー制度について

この制度は、成績評価や単位修得状況が一定の規準を下回る学生に①アドバイスを与え、②さらなる学修意欲の促進を期待し、③成績向上を目指すものです。工学部では、下表の規準により学修指導を実施します。学修指導の対象とならないように勉学に励んでください。

【学修アドバイス判断規準】

学年	セメスター	総修得単位数		GPA値
1	1セメ	14単位未満	または	各セメ 1.0未満
	2セメ	留年者		
2	3セメ	44単位未満		
	4セメ	留年者		
3	5セメ	72単位未満		
	6セメ	留年者		
4	7セメ	100単位未満		
	8セメ	留年者		

【履修・学修アドバイザー制度の流れ】

- ①対象学生はALBOで呼び出しを受けます。(4月・9月)
- ②教務課で「学修面談シート」を受け取ります。
- ③担当教員(学生ケア委員またはゼミ指導教員)にアポイントをとり、面談を受けます。
- ④面談時に、「学修面談シート」を担当教員に渡します。

学生ケア委員の主な活動

1. 成績不振学生への個別指導
(履修・学修アドバイザー制度の統括)
2. 授業等に関する相談窓口
(日常学習での質問を受けたり、専門分野の教員紹介など)
3. 学生生活に関する相談窓口
(関係部門への紹介も行います)

※各学科の学生ケア委員(学部教員)は、教務課で確認してください。